

職業実践専門課程として認定する専修学校の専門課程の推薦について

文 部 科 学 大 臣 殿

令和6年3月31日

下記の専修学校の専門課程を職業実践専門課程として認定する課程として推薦します。

記

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																												
岡学園 トータルデザイン アカデミー	昭和51年4月1日	岡 正子	〒380-0936 長野市岡田町96-5 (電話) 03-6734-2939																												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																												
岡正子	昭和51年4月1日	岡 正子	〒380-0936 長野市岡田町96-5 (電話) 03-5253-4111																												
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																									
文化・教養	文化・教養専門課程	長野プロデュース科			平成31年文部科学省 告示第3号																										
学科の目的	企業、行政等との連携を通し、技術レベル、コミュニケーションレベルともに、実践的で即戦力となる学生を育成するため。																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	62	20	20	10	0	16																								
時間																															
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
60人	9人	0人	9人	14人	23人																										
学期制度	■1学期: 4月1日～7月31日 ■2学期: 8月1日～12月31日 ■3学期: 1月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 技術力、応用力、出席率等を基準																										
長期休み	■学年始: 3月26日～4月7日 ■夏 季: 7月25日～8月18日 ■冬 季: 12月26日～1月10日			卒業・進級 条件	1年次75%/2年次85%の出席及びGPA制度に基づき評語(S～C並びにW・R)で表します。																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任による面談と授業担当者による課題研究			課外活動	■課外活動の種類 ゼミ活動 ■サークル活動: 無																										
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(令和四年度卒業生) アドコマercial(株)、㈱イワサキビーアイ、㈱ベリアント、㈱A&Mサンワ、日経印刷(株)、㈱ビークス、(有)松葉屋家具店、㈱マーキュリー、㈱一 兎舎、㈱長野こまち ■就職指導内容 面接指導、履歴書添削、ポートフォリオ作成指導、社会人マナー、ビジネス一般知識、就職先紹介&斡旋 ■卒業生数 5 人 ■就職希望者数 4 人 ■就職者数 3 人 ■就職率 75 % ■卒業者に占める就職者の割合 60 % ■その他 ・進学者数: 0人 (令和 5 年度卒業生に関する 令和6年4月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和5年度卒業生に関する令和6年4月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AFT 色彩検定3級</td> <td>③</td> <td>73人(学年)</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>マナープロトコル検定</td> <td>③</td> <td>72人(学年)</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>ファッショングラフィケーター能力検定スタンダード</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>イラストレーター能力検定スタンダード</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>観光プランナー</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	AFT 色彩検定3級	③	73人(学年)	68人	マナープロトコル検定	③	72人(学年)	62人	ファッショングラフィケーター能力検定スタンダード	③	5人	5人	イラストレーター能力検定スタンダード	③	5人	5人	観光プランナー	③	5人	5人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																												
AFT 色彩検定3級	③	73人(学年)	68人																												
マナープロトコル検定	③	72人(学年)	62人																												
ファッショングラフィケーター能力検定スタンダード	③	5人	5人																												
イラストレーター能力検定スタンダード	③	5人	5人																												
観光プランナー	③	5人	5人																												
中途退学の 現状	■中途退学者 0 名 令和4年4月1日時点において、在学者9名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者9名(令和5年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 三者面談、個別面談、カウンセリング			■中退率	0 %																										
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: ○ 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 岡久子特待生奨学金制度・・・成績優秀な学生の進級時(3年生に進級する学生が対象)に独自の奨学金制度あり。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																														
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ○有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																														
当該学科の ホームページ	https://okagakuen.com/																														

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業が求める人材レベル(人間性、コミュニケーションレベル、ビジネス知識等)並びに、技術レベル(即生産、製造、販売可能なレベル)に近づけるため、カリキュラム内容として、総合的に学べることとして、商品等の企画・デザイン・制作(場合によっては販売)、PDS(PLAN DO SEE サイクル)を行い、企業が求める、実社会に通用する即戦力のある人材に近づける。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会等は、職業実践専門課程の講義に係るカリキュラム策定において、企業が求める、必要な技術、知識等の意見、要望を伝える。その上で、それらの意見や要望をカリキュラムの一部に盛り込み、実社会において通用可能な人材育成を図る。なお、教育課程編成委員会等の意見、アドバイスに関してはシラバス検討会議で審議されたのち、校長の許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
辻 圭介	長野県デザイン振興協会	令和5年8月1日～令和7年7月31日	①
金井 啓	株デジタルワークスエンターテイメント	令和5年8月1日～令和7年7月31日	③
金子 孝	一般社団法人長野県観光機構	令和5年8月1日～令和7年7月31日	①
岡 正子	岡学園トータルデザインアカデミー	令和5年8月1日～令和7年7月31日	
大和田 秀行	岡学園トータルデザインアカデミー	令和5年8月1日～令和7年7月31日	
越 将俊	岡学園トータルデザインアカデミー	令和5年8月1日～令和7年7月31日	
高柳 秀章	岡学園トータルデザインアカデミー	令和5年8月1日～令和7年7月31日	
伊藤 深志	岡学園トータルデザインアカデミー	令和5年8月1日～令和7年7月31日	
小宮山 潔	岡学園トータルデザインアカデミー	令和5年8月1日～令和7年7月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年7月26日 15時00分～16時30分

第2回 令和6年2月28日 10時00分～11時30分

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

どのようなカリキュラムが社会において必要なスキルや知識かという観点から、過去に行っていた内容の見直し(カリキュラムの再組み立て)を行い、その後は、極力それらの意見を反映した内容の講義を行っている。

今回の委員の方々からの声を活かした内容としては、デザインレベルの向上のための研修や現場視察、また学生たちが主体的にデザインを構想できるような場の提供の必要性があるとの指摘を受け、これらアドバイスをシラバスに反映させていく。

(別途、以下の資料を提出)

- * 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- * 教育課程編成委員会等の規則
- * 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- * 学校又は法人の組織図
- * 教育課程編成委員会等の開催記録

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

基本方針としては、企業側と学校側との双方の要望に対して意見交換を行い、具体的なカリキュラム内容、時期、時間等を決定する。また、基本内容としては、書籍や商品ができるまでの「構想、企画、デザイン、サンプル、商品開発、販売」までの一連の流れを学び実践する

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

連携協定書に伴い、書籍や商品ができるまでの「デザイン、サンプル、商品開発、販売」までの一連の流れを学び実践する。また、評価に関しては、当授業における「技術レベル」、「商品(デザイン)レベル」に対して学内、並びに企業からの評価を得て成績に反映させる。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
制作展実習Ⅰ	デザイン企画、プレゼン、販促	長野県 産業労働部/信州大学 /中沢デザイン事務所/(株)デジタルワークス
制作展実習Ⅱ	デザイン企画、プレゼン、販促	長野県 産業労働部/信州大学 /中沢デザイン事務所/(株)デジタルワークス
マーケティングプランディングⅠ	ショップ運営、マネージメント等	長野県 産業労働部/信州大学 /中沢デザイン事務所/(株)デジタルワークス
マーケティングプランディングⅡ	ショップ運営、マネージメント等	長野県 産業労働部/信州大学 /中沢デザイン事務所/(株)デジタルワークス

(別途、以下の資料を提出)

* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校の教職員研修規定に基づき、教職員に対して、現在就いている職に係る職務の遂行に必要な知識、技能等並びに学生への教授法の改善と指導力を向上させ、教職員の能力、資質等のレベルアップを図ることを目的とする。なお、研修は、学生の長期休暇の間において、専門分野における実務に関する研修等並びに、指導力の修得・向上のための研修等を1回以上行うこととする。(専任教師は必須とする。)

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

■ 研修名「戸隠の観光プロモーション方法」

日時: 令和5年5月30日(火) 10:00~14:30

場所: 戸隠観光協会・戸隠キャンプ場

研修者: 長野プロデュース科2年生

研修内容: 戸隠の観光プロモーション方法について

今年度長野プロデュース科の2年生は「長野市の関係人口創出」のテーマで市内の様々な観光地を取材することとして、市内随一の観光地である戸隠で「観光プロモーション方法」についての話を伺った。後期授業において各々が「長野市の関係人口創出企画」を考えるにあたり、地元関係者の「シビックプライド」や「プロモーション手法」は大いに参考になった。

■ 研修名「白馬の観光プロモーション方法」

日時: 令和5年9月20日(水) 10:30~14:30

場所: 白馬岩岳マウンテンリゾート・柵池マウンテンリゾート

研修者: 長野プロデュース科1年生

研修内容: 白馬の観光プロモーション方法について

本学のVR授業において、長野プロデュース科は撮り手側の視点でオリジナルの地域プロモーション映像を令和3年度に白馬を舞台に制作した。今年度の1年生はそのVRを視聴して現地を疑似体験したが、視聴後に実際に現地に行くことでVRと実際の訪問での気づきの違いなどを検証するために現地に訪問した。当日は現地にて「白馬のプロモーション方法」「SDGs活動」、「今後の観光業」等についてのお話を伺い、現場の空気感を体感した。

② 指導力の修得・向上のための研修等

■ 研修名「地元クリエイターとの意見交換」

日時: 令和5年12月21日(木) 20:00~22:30

場所: R-DEPOT

研修者: 長野プロデュース科主任: 小宮山潔

研修内容: 地元クリエイターとの意見交換

長野プロデュース科では授業において、コミュニティデザイン演習として地元商店街やNPO団体等の地域コミュニティに参画して問題解決能力を養ったり課題解決の手段として表現方法の技術を学んでいる。

その中で、長野で活躍されている映像クリエイター「くろやなぎてっぺい」様が主催するイベントに参加して、地元クリエイターの方と「地域プロデュース」や「デザインの考え方」についての講義聴講と意見交換を行なった。

その延長で、令和5年度の学生制作展にはくろやなぎてっぺい様に審査員も務めていただき、学校との関係構築に繋がっ

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

■ 研修名「伝統工芸の現状や今後への課題について」

期間: 令和6年9月(予定)

対象者: 長野プロデュース科主任: 小宮山潔、長野プロデュース科2年生

内容: 2年生が伝統工芸の販路拡大や新商品企画を考えるにあたり、長野県庁の伝統工芸推進担当者に伺って伝統工芸の現状や今後の改題についてのお話を伺う。

また課題の解決方法についてディスカッションを行う。

■ 研修名「IT分野における地域課題の解決方法」

期間: 令和6年10月(予定)

対象者: 長野プロデュース科主任: 小宮山潔、長野プロデュース科1・2年生

内容: 信州ITバレー構想の中心的役割を担う(株)シソーラス様に伺い、長野エリアの様々な分野のDX化に向けた課題解決方法のお話を荒井社長様より伺う。

またコミュニケーターとして県内の様々な地域課題と向き合っている吉川みどり様にもコミュニティデザインの事例などを参考にケーススタディのお話を伺う。

② 指導力の修得・向上のための研修等

■ 研修名「オンラインによる指導力アップ研修」

期間: 令和5年11月以降 随時

対象者: 長野プロデュース科主任: 小宮山潔

内容: ©SchooがWebサイトにて無料で提供している。生放送授業及び録画授業の中から無料で見る事ができる講座の視聴。生放送授業は午後9時スタートの講座が多いため、指導力アップに繋がる内容の講座が開催される際、帰宅後に視聴する形となる。録画授業に関しては、グラフィックデザイン、Webデザインに関連する動画の視聴を随時行う。

■ 研修名「地元プランナー・クリエイターとの意見交換」

期間: 令和5年4月~12月(予定)

対象者: 長野プロデュース科主任: 小宮山潔

内容: (株)シソーラス様やR-DEPOT様で定期的開催されている「クリエイター交流会」や「まちづくり会議」に積極的に参加して、地域プロデュースへの考え方や学校との関係構築に繋げる。

(別途、以下の資料を提出)

- * 研修等に係る諸規程
- * 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)
- * 研修等の計画(推薦年度における計画)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

デザインの専門分野の企業及びそれに類する方々と共に、学校関係者評価委員会を設置して教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	① 教育理念・教育目標 ③ 教育方針 ④ 年度方針
(2) 学校運営	① 学校運営の方針 ② 事業計画について ③ 学校組織のありかた ④ 意志決定のプロセス ⑤ 業務の効率化
(3) 教育活動	① 学科編成における全学科と通しての共通な特徴 ② 各学科の概要 ③ カリキュラムについて ④ 単位認定・成績評価の考え方について ⑤ 資格取得・国家資格に向けた授業について ⑥ 業界との協力体制 ⑦ 産学官共同授業について ⑧ 業界からの授業成果に関する協力について ⑨ 修了制作展 作品の展示について ⑩ インターンシップ
(4) 学修成果	① 就職指導の全体方針について ② 就職目標設定と29年度報告 ③ 就職に対する本校の特徴 ④ 就職指導体制
(5) 学生支援	① 学生支援体制
(6) 教育環境	① 施設・設備状況について ② 防災・災害に対する対応について ③ 保険への加入について
(7) 学生の受入れ募集	① 募集の動き ② 広報媒体 ③ 募集体制 ④ 学費について
(8) 財務	① 財務
(9) 法令等の遵守	① 個人情報保護について ② 学校自己点検・自己評価について ③ 学生作品と著作権の問題
(10) 社会貢献・地域貢献	① 産学官連携の成果 ② 産学官連携の一覧
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

次年度のカリキュラムを作成するうえでの参考文献として活用する(している)が、カリキュラム内容に関しては、企業が求める人材に即した内容に修正し、卒業生や在校生、の声に関しては、カリキュラム内容も去ることながら、講義を受ける環境、機械類などのインフラ整備に役立てる。また、保護者に関しては、就職状況の報告や、面談などのフォローをし、情報の共有化に役立っている。

採用例:①コンプライアンスや個人情報に係る内部研修会、②wifi環境、ネットワーク管理等学びの環境づくり

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
村松 裕幸	信州大学	令和4年4月1日～令和5年3月31日	専門家
福田典子	信州大学教育学部	令和4年4月1日～令和5年3月31日	専門家
高橋 和也	株式会社エイブルデザイン	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業等委員
酒井 俊司	株式会社エコマコ	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業等委員
高野 紫帆	岡学園トータルデザインアカデミー	令和4年4月1日～令和5年3月31日	在校生
渡邊 なの子	岡学園トータルデザインアカデミー	令和4年4月1日～令和5年3月31日	在校生
岡 正子	岡学園トータルデザインアカデミー	令和4年4月1日～令和5年3月31日	校長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://okagakuen.com/information-disclosure/> 公表時期:平成31年4月1日

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

よりよい学校運営を実現するために、学内のみならず、学校運営に関わる企業や学校関係者から、学校運営に関する意見や提案をいただき、学校経営の改善に役立てることを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	①教育方針 ②理事長及び校長名、所在地、連絡先等 ③学校の沿革、歴史 ④学校保健安全計画
(2) 各学科等の教育	①入学者に関する受入れ方針及び収容定員、在校生数 ②カリキュラム ③進級・卒業の要件等 ④学習の成果として取得を目指す資格 ⑤資格取得、検定試験合格等の実績 ⑥卒業者数、卒業後の進路
(3) 教職員	①教職員の組織 ②教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育への取組状況 ②実習・実技等の取組状況 ③就職支援等への取組支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	①学校行事への取組状況 ②課外活動
(6) 学生の生活支援	①学生支援への取組状況
(7) 学生納付金・修学支援	①学生納付金の取扱い(金額、納入時期等) ②奨学金、授業料減免等の経済的支援措置
(8) 学校の財務	①財務
(9) 学校評価	①学校自己評価報告書および評価結果を踏まえた改善方策
(10) 国際連携の状況	①留学生の受入れ状況 ②外国の学校等との交流状況
(11) その他	①学則

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
URL: <https://okagakuen.com/>

(別途、以下の資料を提出)
* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	コシ マサトシ	所属部署	
	氏名	越 将俊	役職名	
	所在地	〒380-0936 長野市岡田町96-5		
	TEL	026-226-5719	FAX	026-224-4064
	E-mail	info@okagakuen.com		

(備考)

・用紙の大きさは、日本産業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ。)

授業科目等の概要

文化・教養専門課程長野プロデュース科令和四年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			長野プロデュース論Ⅰ	地域プロデュースの基礎知識	1	81	3	○		○	○	○			
○			長野プロデュース論Ⅱ	地域プロデュース実践	2	135	5	○		○	○	○			
○			地域デザインⅠ	観光プランナー資格取得、地域探求	1	81	3	○	○	○	○	○			
○			地域デザインⅡ	地域プロデュース実践	2	81	3	○	○	○	○	○			
○			グラフィック デザインテクニックⅠ	グラフィック基礎	1	54	2	○	○	○	○				
○			グラフィック デザインテクニックⅡ	グラフィック応用	2	54	2	○	○	○	○				
○			グラフィック ビジュアル表現Ⅰ	作品制作演習Ⅰ	1	54	2	○	○	○	○				
○			グラフィック ビジュアル表現Ⅱ	作品制作演習Ⅱ	2	54	2	○	○	○	○				
○			映像Ⅱ	映像応用	2	54	2	○	○	○	○	○			
○			WEBデザインⅠ	IT概論、HP基礎	1	54	2	○	○	○	○			○	
○			WEBデザインⅡ	IT概論、HP制作	2	135	5	○	○	○	○			○	
○			色彩学	色彩に関する基礎知識、色彩検定対策	1	54	2	○	○		○			○	
○			マーケティング論Ⅰ	マーケティング理論Ⅰ、販促理論Ⅰ	1	54	2	○	○	○	○	○			
○			マーケティング論Ⅱ	マーケティング理論Ⅱ、販促理論Ⅱ	2	54	2	○	○	○	○	○			
○			マーケティング ブランディングⅠ	ショップ企画、係数管理等	1	27	1	○	○	○	○	○			○
○			マーケティング ブランディングⅡ	ショップ運営、マネージメント等	2	27	1	○	○	○	○	○			○
○			デザイン思考論	デザイン理論、作品制作演習	1	81	3	○	○	○	○				
○			制作実習Ⅱ	自主作品（ポートフォリオ）制作	2	27	1		○		○			○	
○			制作実習Ⅰ	制作展に向けての個人クリエイション	1	108	4		○		○	○			○
○			制作実習Ⅱ	制作展に向けての個人クリエイション	2	108	4		○		○	○			○
○			ビジネス一般Ⅰ	ビジネス文書、電話対応、就職対応等	1	54	2	○			○				
○			PC	オフィスソフト応用	1	54	2	○	○		○				○
○			PF制作	ショップ企画、運営、商品の設計、量産、販売	2	54	2				○			○	
○			マナープロトコール	マナー&プロトコール	1	27	1	○			○				○
○			プレゼンⅠ	プレゼンテーション	1	27	1		○		○				
○			プレゼンⅡ	プレゼンテーション	2	27	1		○		○				
○			校外研修Ⅰ	企業研修、現場見学会、展示会の参加等	1	27	1	○				○	○		
○			校外研修Ⅱ	企業研修、現場見学会、展示会の参加等	2	27	1	○				○	○		
○			自主単位Ⅰ	ゼミ活動	1	27	1	○	○	○	○	○	○	○	
○			自主単位Ⅱ	ゼミ活動	2	27	1	○	○	○	○	○	○	○	
○			フォーラムⅠ	デザイン講話、ワークショップ	1	54	2	○	○	○	○	○	○		
○			フォーラムⅡ	デザイン講話、ワークショップ	2	54	2	○	○	○	○	○	○		
合計					32科目		単位時間(68 単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
授業時間28時間（実習にあっては30時間）を1単位とし、1年間に取得できる単位は33単位までとする。課程終了の認定は出席時数及び各科目の試験・提出物、授業態度等を評価し、校長が之を定める。	1学年の学期区分	3期
	1学期の授業期間	12週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。